

青葉区民会議

第3期活動記録

平成11年4月～平成13年3月

～ 目 次 ～

区民とともに、区民のために	1
第3期運営委員会開催一覧表	2
第3期青葉区民会議活動一覧	3
「わがまち」の未来像を共に語る会	4
区民のつどい・地域のつどい	5
北部3区区民会議交流会・全市区民会議交流会	6
広報活動	7
5部会活動記録	
福祉・保健・医療部会	8
自然環境部会	11
防災・交通部会	14
教育・子育て・生涯教育部会	17
文化・コミュニティ部会	20
区民まつり・施設見学会	23
プロジェクト活動	24
第3期区民会議委員・運営委員・参加団体	25

この小冊子は第3期青葉区民会議委員108名が青葉区のまちづくりにどう取り組んできたかの活動記録です。

第3期の前期は青葉区制5周年、後期は21世紀の青葉区のあり方をえがく都市計画マスタープランの策定作業が進められる大きな節目にあたりました。

更に、平成12年度から介護保険が開始され、地方分権一括法が施行、横浜市でも市民活動推進条例が制定されるなど、地方自治と住民活動にとって意義深い時期でした。

#### 区民会議自己変革への取り組み

区民会議が課題への取り組みを進めるには、区民の幅広い意見の集約と支持の中で活動することが自ずと求められています。ボランティア活動への参加意欲や市民意識が高く、価値観が多様な青葉区民の要望に対応して活動して行くためには、また、高度化する行政システムとのアクセスを適確に行うためには、区民会議自体の変革が求められています。このため第3期は以下のテーマに取り組み、その実現に努力してきました。

- ◆ 自治会・地域団体との連携強化
- ◆ 市議員との相互理解の促進
- ◆ 区長との対話実現（予算要望）
- ◆ 部会間交流の促進
- ◆ 北部3区区民会議との交流
- ◆ ホームページ開設 情報公開・交流促進
- ◆ 運営ルールの明文化（マニュアル作成）
- ◆ 都市計画マスタープラン策定への参画
- ◆ 次期参加者へのオリエンテーション実施

民主主義の原点である住民自治を一步でも前進させるためには、まず青葉区民会議自身が「自主、自立、公開」の基本理念を着実に進めることが不可欠です。このため、謙虚に自治会や地域諸団体との連携を深めることを第1の課題として取り組みました。自治会長や市民団体活動家の実際の体験を中心に構成した12年度「区民のつどい」はその活動の一環です。

更に、市議との接点を広げ、区民会議への理解を深めてもらうために、我々区民が選出した7人の市議全員の参加による「わがまちの未来像を共に語る会」を開催しました。青葉区独自の課題を解決するためには巨大都市横浜の中の区行政のあり方、区民のための市議の活動と地方議会のあり方が課題として浮き彫りになりました。

更に、区民会議活動をより多くの区民に知ってもら

活動として広報紙「青葉」の発刊に加え、ITを活用、「区民会議ホームページ」を委員の手作りで開設し、市民との情報交流を飛躍的に促進、多様な世代と接触する機会を広げることに着手しました。横浜市の区民会議で初の自主的なホームページの開設です。区民会議運営の公開性の促進にも生かされ、運営委員会や各部会の活動をすばやく知ることが出来るようになりました。

#### 区民会議活動の高度化

複雑化、多様化する区民ニーズを適確に把握し、その実現を図るために行政と対話を進めるには、区民会議活動の高度化が求められています。運営委員会の活性化と活動の企画力実行力を高めるために、「企画推進」「地域活動」の2つのグループを設け、更に小委員会や実行委員会に部会推薦の活動的な委員が積極参加したプロジェクトが大きな成果を上げることが出来ました。

また、鶴見川をテーマに緑区、港北区と3区交流会を開催、北部4区の共通の課題に手を携えて取り組む区民会議の横の広がりも始まりました。

区民会議の基盤である部会活動を更に活発に行うため、部会の枠を超えた活動の推進、部会間移動の自由化、部会内グループ活動による専門化が進められました。特に部会が主体となった「区民のつどい」分科会の開催や質の高い公開講座、シンポジウムの開催がその成果といえます。

部会活動の集約として市政に対する予算要望にまとめて提出するとともに、区長をはじめ行政との対話を促進してきましたが、要望の実現は大きく進んでいるとはいええる状況ではありません。提言・要望の充実と共に、これを受ける行政側の仕組みも大きな課題です。

#### 青葉区まちづくり会議への参加

12年度から始まった都市計画マスタープラン青葉区民まちづくり会議に16名もの委員がスタッフとして自主参加。策定委員会にも代表が加わり、常日頃の活動に裏打ちされた提言を基本プランに生かす絶好の機会となりました。区民会議が政策立案にまで参画する力と責任ある組織に成長した一つの証といえます。

#### 21世紀の区民会議の役割

巨大都市横浜市の中で、27万区民が自らの手で青葉区をよくしていく仕組みをどう構築するかが大きな課題です。そこに区民会議の役割があります。市民と行政をつなぐ話し合いの場をつくり、課題実現へのプロセスを設定する責任ある役割をどう果たしていくか、文字通りの区民会議の本格的な活動はこれから始まろうとしています。



### 第3期運営委員会開催一覧表

回数	開催日	話し合いの内容	回数	開催日	話し合いの内容
第1回	H11. 4. 17	・代表委員、副代表委員の選出 ・第3期区民会議三役、運営委員の紹介	第14回	H12. 4. 27	・ホームページ開設準備について ・「青葉区まちづくり会議」への参加について検討
第2回	H11. 4. 22	・今後の運営方針表明 ・企画推進グループ、地域活動グループの設置 ・広報委員を選出	第15回	H12. 5. 25	・「区民のつどい」実施計画について検討 ・ホームページ開設準備進捗状況 ・北部3区交流会実施計画について
第3回	H11. 5. 27	・「区民のつどい」実行計画の決定 ・各部会の年間活動計画の提出を要請	第16回	H12. 6. 22	・「区民のつどい」実施最終打合せ ・ホームページ開設と今後の課題 ・区民会議ニュース発行について
第4回	H11. 6. 24	・「区民のつどい」実行計画の細部を調整 ・部会所属の原則と部会変更に関して取り決め	第17回	H12. 7. 27	・平成13年度予算要望まとめ ・運営検討小委員会設置の検討 ・「青葉まちづくり会議」スタッフ懇談会について
第5回	H11. 7. 22	・平成12年度予算要望とりまとめ ・「区民のつどい」実施報告	第18回	H12. 8. 24	・運営検討小委員会設置について ・各部会公開講座の実施計画について調整
第6回	H11. 8. 26	・「大型企画」計画決定	第19回	H12. 9. 21	・運営検討小委員会中間報告 ・全市交流会準備状況
第7回	H11. 9. 16	・「語る会」実行委員会設置決定 ・区民まつり参加について検討 ・施設見学会の企画について検討	第20回	H12. 10. 26	・運営検討小委員会からの答申及びその承認 ・第4期委員募集の方法について検討
第8回	H11. 10. 28	・「語る会」の実施について検討 ・区民会議交流会への出席者を調整	第21回	H12. 11. 22	・第4期委員募集の具体的取り組みについて検討、決定 ・北部3区交流会実施報告
第9回	H11. 11. 25	・「わがまち」の未来像を共に語る会の実施推進について検討 ・区民まつりの反省 ・区民会議交流会参加報告	第22回	H12. 12. 22	・来期委員へのオリエンテーション実施の内容について検討 ・活動要領等改正案の決定について
第10回	H11. 12. 22	・「わがまち」の未来像を共に語る会の実施推進について検討 ・委員総会について実施日等を検討	第23回	H13. 1. 25	・部会設置検討小委員会立ち上げ ・施設見学会について、訪問先を決定 ・第3期活動記録原稿の進捗状況
第11回	H12. 1. 21	・「わがまち」の未来像を共に語る会の実施内容について細部を調整、確認 ・施設見学会について訪問先を決定	第24回	H13. 2. 22	・部会設置新旧意見交換会の進め方について検討 ・区民会議ニュース発行について
第12回	H12. 2. 24	・「わがまち」の未来像を共に語る会の実施報告および反省 ・委員総会について、日時、場所、内容に関して決定	第25回	H13. 3. 22	・第4期発足の進め方について ・解散総会の進め方について調整
第13回	H12. 3. 23	・委員総会について、具体的な進め方を確認 ・12年度の具体的な取り組みについて調整			

### 第3期青葉区民会議の主な活動一覧 (部会活動を除く)

年月日	活動名	活動内容
H11. 4. 10 4. 17	第3期青葉区民会議発足総会 設立部会	第2期実績報告 活動要領の承認 地域単位の運営委員の選出 部会長、副部会長などの選出 第1回運営委員会代表、副代表選出、委員総会で方針説明
4. 21	「地域のつどい」実行委員会	
5. 8	中部地区「地域のつどい」	
5. 15	北部地区「地域のつどい」	
5. 16	南部地区「地域のつどい」	
5. 27	区民会議委員研修会	(広報紙編集研修会)
5. 27	地域活動グループ#1	
6. 3	地域活動グループ#2	
6. 3	横浜市区民会議代表者会議	
6. 21	青葉区制5周年記念事業実行委員会	
7. 3	「区民のつどい」	「高齢社会の街づくり」
7. 3	地域活動グループ会議	
	企画推進グループ会議	
7. 19	企画推進グループ会議	
7. 29	第25回区民会議交流会実行委員会	
7. 29	12年度横浜市予算要望区長提出	
9. 1	区民会議ニュース発行	「青葉区民会議」第9号発行
9. 6	企画推進グループ「語る会」準備会	
9. 22	「語る会」実行委員会#1	
11. 6	「県民フォーラムよこはま」参加	テーマ「みんなで取り組もう!! 環境にやさしい暮らし」
11. 7	区民まつり	「菓膳がゆ」を提供しながら区民会議をアピール
11. 24	第25回全市区民会議交流会	テーマ「新しい時代の区民会議を考える」
12. 5	公開講座	「みんなの支援で楽しい育児」
H12. 2. 19	「わがまち」の未来像を共に語る会	青葉区選出の7市議員とともに
3. 15	区民会議ニュース発行	「青葉区民会議」第10号発行
3. 8	予算要望への回答	
3. 24	施設見学会	①桜木町クリーンセンター②脳血管医療センター
4. 1	委員総会	運営委員補充報告 活動報告 各部会活動の発表 12年度活動の方針確認 広報委員と各部会からHP担当委員で構成
5. 12	ホームページ制作プロジェクトスタート	「司会者の苦勞と悩み」白井實氏
5. 18	区民会議委員研修会	
5. 23	「区民のつどい」実行グループ	
6.	横浜市区民会議代表者会議	
7. 1	「区民のつどい」	「人にあたたかい“まち”青葉」
7. 24	第26回区民会議交流会実行委員会#1	
8. 4	13年度横浜市予算要望区長へ提出	
8. 7	ホームページ制作プロジェクト	
9. 1	区民会議ニュース発行	「青葉区民会議」第11号発行
9.	「青葉区まちづくり会議」スタッフとの懇談会	
10. 26	運営検討小委員会答申	第4期募集の繰上げ、各種マニュアルの明文化
10. 28	「県民フォーラムよこはま」参加	「見つめよう青少年の心、伝えよう大人の想い」
10. 3	広報紙編集研修会	
11. 3	区民まつり	
11. 7・8	パソコン教室開催	ホームページシアター開設 2日間で41名が受講
11. 11	シンポジウム	「水と緑のシンポジウム 自然よ!よみがえれ 鶴見川」
11. 18	北部3区区民会議交流会2000	「鶴見川流域のまちづくり」～結ぼう北部4区のカ～ 「まちづくり宣言」
11. 22	第26回全市区民会議交流会	テーマ「よりよいまちづくりのために」
11. 26	公開講座	「地域で教育を考える」パート2
H13. 1. 10	部会長会議	予算要望口頭回答
1. 21	公開講座	「福祉の現場を共にかんがえる」
2. 25	公開講座	「お互いをみとめ合う共生のまちづくり」
2. 3・4	第4期区民会議応募者へのオリエンテーション	
3. 3	部会設置新旧意見交換会	第4期区民会議部会設置案にむけて、第3期と第4期応募者で意見交換 環境事業局鶴見工場、鶴見リサイクルセンター、キリン横浜工場
3. 7	施設見学会	
3. 15	区民会議ニュース発行	「青葉区民会議」第12号発行
3. 19	部会設置検討小委員会答申	第4期の活動テーマと部会設置の方向
3. 21	活動記録発行	第3期青葉区民会議活動の記録を小冊子にして整理
3. 21	予算要望への回答	
3. 25	第3期区民会議解散総会	第3期青葉区民会議活動の総括

# 「わがまち」の未来像を共に語る会

—青葉区選出全市会議員をまじえて—

青葉区制5周年記念事業 2月19日(土) 12:00-16:00 於:青葉公会堂

## 〈なぜ市会議員との語る会?〉

区民と青葉区選出の全市会議員が一同に会して開かれた、このシンポジウムは、区民会議始まって以来の新しい取り組みでした。20回にも及ぶ準備会での綿密な計画の末、区民会議委員一人ひとりの地域でのネットワークや自治会、各種団体などの協力で500名近い参加者による会となりました。

区選出の市議の方々には青葉区民会議の顧問をお願いしています。市議会は市行政と共に市政を担う「車の両輪」で、市民の意思を市政に反映させる重要な役割を担っているところです。その市会議員をパネリストに市政への関心を高める活動を行うことは、区民会議の大事な役割の一つです。

## 〈テレビ体操で会場和む〉

東急CATV・島山アナウンサーの総合司会により、テレビ体操でおなじみの輪島講師と横浜市高齢者健康体操指導員による「NHK みんなの体操」で始まりしました。この新しい体操には車椅子の方も参加し、輪島講師の軽妙な話術とともに会場全体が一気に和やかな雰囲気になりました。

引き続き「青葉区を取り巻く現状」を分析した中谷代表のオリエンテーションがあり、コンピュータ映像を駆使した分かりやすい説明は、今後の区民会議活動の方向を示唆するものとなりました。



## 〈不偏、不党の演出〉

第1部の7人の市会議員によるパネルディスカッションは、神奈川新聞社編集局長の千葉信行氏の司会で進められました。この会は、“不偏、不党、公正中立”が演出のポイントでした。このため何度も日程調整、討論内容の確認などを行いました。政見報告会とならない工夫や市民感覚で発言してもらう工夫など、考えなくてはならないことも多く、パネリストの皆さんに

は大変なご協力を頂きました。パネルディスカッションのテーマは「青葉区の未来像、実現への課題」「青葉区独自の区政」「住民参加のまちづくり」の3つ。特に「青葉区独自の区政」をどう進めるか一区役所機能の強化や分権、区づくり推進費の一律1億円の配分のあり方に関して市議一人ひとりの意見が明確に述べられました。



区民提言に耳を傾ける市会議員。吉村米壽、横山正人、大貫憲夫、手塚静江、菅野義矩、福田峰之、脇田久美子の各氏。(会場到着順)

## 〈市民提言は80件を越す〉

第2部では、市民から提出された提言を、83件の中から12人の方に絞り、発言をしてもらいました。提言はきわめて広範にわたり、提言内容を項目で分けると一番多いのが環境整備関連63項目、教育・文化関連23項目、ふれあい関連28項目、その他10項目。切り口こそ違っていますが「地域みんなで」という、ミニ・コミュニティの形成を念頭に描いている人が多いことが内容からうかがえました。また未来像がテーマだったこともあり行政組織や条例の整備を求めるものが多かったのも特徴的でした。増え続ける区民を抱える区、近い将来急激な高齢化に入る区、職場を都内にもつ住民が多い区、そして横浜の最北に位置する区としてどうなってほしいのか、市民の提案からも特別区構想が挙がり、第1部の市議の話と呼応するものでした。

## 〈成果と舞台裏〉

今回提出された市民の提言はすべてコピーし、議会活動に役立ててもらうため市議全員に届けました。パネルディスカッションを効果的に進めるために、司会者だけでなく7人に議員一人ひとりにマイクがわたる工夫、コンピュータ映像を大画面に映し出すプロジェクターの準備、体操関係者のためのリハーサル室確保、分単位の運行スケジュール、マスコミ対応に至るまで、「区民のつどい」の手順とは一味違った苦勞も多く、成功したことは大きな財産となりました。

# 区民のつどい・地域のつどい

「区民のつどい」は、区民同士が話し合う場として青葉区民会議が大切にしている催しです。多様化するニーズの行政への反映や、区民の合意に向け、建設的な意見・提言を引き出すため、会議の持ち方に工夫を重ね、11年度は部会別の5分科会で、12年度はテーマごとの3分科会で開きました。

一方「地域のつどい」は、11年度は従来どおり、連合自治会との共催で3地区で開きました。12年度は、新しいやり方を考えようという意見が双方に出て、「青葉区の都市マスタープランづくり」に取り組むという行政側の事情もあり、開催を見送りました。なお、催しで出た意見のうち、行政に関わるものは「区民要望」として回答を求めました。



## 高齢社会の街づくり

平成11年度 区民のつどい

7月3日 青葉区公会堂 区民参加112人

共通テーマ 高齢社会の街づくり

第1部 青葉区11年度区政方針と事業説明

第2部 5分科会と個別テーマ

第1分科会 「老いてますます…」

第2分科会 「緑・歩く・健康」

第3分科会 「赤ちゃんからお年寄りまで…ふれあいの子育て・教育」

第4分科会 「やさしい道・安全な街」

第5分科会 「外国人から見たら…日本人の街づくり」

次年度の国際高齢者年・介護保険の実施を先取りした共通テーマで開催、各分科会の論議も、「ものも大切だが、心のふれあいをもっと大切」、「心をつなぐネットワークづくりが必要」などと“世代を越えたふれあい”がキーワードになりました。

主な意見・提案は次の通り

- ・体操教室など高齢者対象の地区センターの催しは、希望者がもっと利用できるような定員を増やして。
- ・川べりの歩道に休憩場所やトイレの設置を。
- ・隣接市でも老人パスの利用や乗り継ぎを可能に。
- ・多世代ふれあいの子育て支援ネットワークづくり。
- ・おもしろい心でまちづくりを。

## 人にあたたかいまち 青葉

平成12年度 区民のつどい

7月1日 青葉区公会堂 区民参加142人

共通テーマ 人にあたたかいまち 青葉

第1部 青葉区12年度区政方針と事業説明

第2部 まちづくり体験

・いい川づくり

あおばく・川を楽しむ会 松木房子さん

・私たちはこうして循環バスを実現した

梅ヶ丘自治会長 毛呂清志さん

・地域の教育力を学校へ

市ヶ尾中学校教諭 鈴木康嗣さん

第3部 3会場と個別テーマ

第1会場 水と緑のまちづくり

第2会場 生活しやすいまちをつくる

第3会場 地域で教育を考える

12年度は、活動の幅を広げるため、実際に活動し、成果をあげている人たちの体験を聴き、これを踏まえて論議を進めるのがねらい。その点、「綿密な調査をしないと行政などは動かない」という毛呂自治会長の話は共感を呼びました。分科会での意見や提案は次の通り

- ・緑保全は、緑地権者の立場も考えた支援策も必要。
- ・駅前タクシー乗り場は、青葉台以外どこも道路の向かいにあり、不自由者には危険。
- ・新興住宅地にも郵便ポストの配置を。
- ・総合教育のための学校と地域連携の組織づくり。
- ・こどもの心を育てる学習を。もっと学校開放を。

## 地域のつどい(平成11年度)

[中部地域] 藤が丘地区センター

5月8日(土) 参加者 87人 発言18件

[北部地域] 山内地区センター

5月15日(土) 参加者139人 発言25件

[南部地域] 若草台地区センター

5月16日(日) 参加者 76人 発言35件

## 区民からの主な意見・要望

- ・ドッグランをつくってほしい(中部)
- ・運転手つきのハンディキャブの貸出をしてほしい(中部)
- ・田園都市線の主要駅にエレベーター、エスカレーターを設置を(北部)
- ・防災機材の使い方をしっかりと研修してほしい(北部)
- ・青葉台駅～奈良地区のバスを増便してほしい(南部)
- ・青葉台駅のバスのアイドリングストップを徹底してほしい(南部)
- ・再勝橋とドルフ青葉台の四つ角に信号を設置してほしい(南部)